



南 雲 正

総務文教常任委員会

1 予算編成について

質問

必要な新規、投資的事業への配分枠を最低限確保したということであるが、今湯沢町に必要な新規、投資的事業への枠をどの程度と認識しているのか、確保できた予算額と歳出予算に占める割合はどのくらいか。また、新年度に見直しが見定される既存事業と施設とは何か。

町長答弁

新規、投資的事業予算は6億5千万円、11・1%計上し、一般財源ペースで前年度より1億7千万円の増である。全事業、全施設を見直し対象として、日常業務の中で洗い出し、見直しを進める。湯沢町が生き残るためには合理化が必要であることを町民から理解してもらいたい。

代表質問

や他の用途への変更も視野に入れた検討が必要ではないか。

2 主要施策について

①防災対策の充実

質問

地域防災計画の見直し作業が予定されているが、現在の地域防災計画では対応できないのか。また、町内会の自主防災組織の立ち上げに対する指導の方法は。

町長答弁

役場の組織や郡内の行政組織の変更や土砂災害区域指定などの新たな対応と、行政関係者だけでなく町民が見ても理解できるようにする総合的な改正である。町内会の自主防災組織は20町内で組織されている、今後消防署や消防団と連携し育成を図る。

②上中子宅地分譲の推進

質問

不動産会社への販売委託

住宅地で販売することが良いと思うが、業界専門家に事業全体を委ねることも視野に入れて取り組む。

町長答弁

まちづくりにとって最も重要な、町民の声を聞くための公聴活動の方向性が示されていないが、どう対応されるのか。

③情報の伝達と広報活動の充実

質問

行政が地域に出向き、町民の生の声を聞くことは大事である、施政方針では言わなかったが、折々に触れ、町民と接する機会を作りたい。

町長答弁

教育委員会への諮問している「少子化に対応した湯沢町の今後の教育と湯沢中学校の校舎建替え」の答申が9月に出るということであるが、どのような手順で、いつごろ町としての方針が決定されるのか。「食育の推進」とは具体的にどのようなことか。

④学校教育の充実

質問

教育委員会に諮問している「少子化に対応した湯沢町の今後の教育と湯沢中学校の校舎建替え」の答申が9月に出るということであるが、どのような手順で、いつごろ町としての方針が決定されるのか。「食育の推進」とは具体的にどのようなことか。

町長答弁

教育委員会の答申の内容を精査して、出来るだけ早い時期に町の方向を示したい。食育の推進は、地元食材を給食に使い、生産者との交流や生産現場での体験を通じて郷土への愛着を育て、給食を流通や食文化を学ぶ場とするという考えである。

⑤生涯学習と文化振興

質問

施政方針の基本理念が「忘れかけていた田舎の原風景やそこに遊ぶ子供達の笑顔、これらを大切にしてい

町長答弁

全国に発信している越後湯沢全国童画展の世界でもある。このことから、まちづくりのシンボルとして童画美術館の建設についての検討を続けなければならないが、施政方針で触れられていないのは何故か。青少年の健全育成では、国の方針が変わる中で野外観察学習や物づくり等の体験学習を推進しているが、町独自の方向を目指しているのか。

⑥64回国民体育大会冬季スキークリケットの開催

質問

日本協が簡素な節約国体

美術館の建設を考える前に、全国童画展の入賞作品約400点の有効活用、川上四郎作品96点の取り扱いについて、長岡造形大の豊口先生や川上家に相談をしている、今後新たな展開があったら報告したい。野外観察、ものづくり等の体験学習は夏休み等の休日を利用して参加機会の充実を図りたい。